

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 津別町

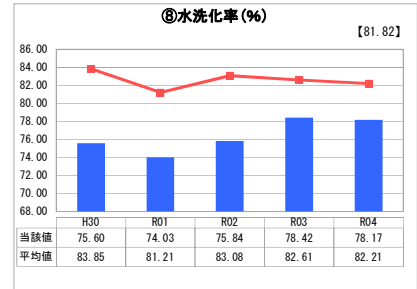
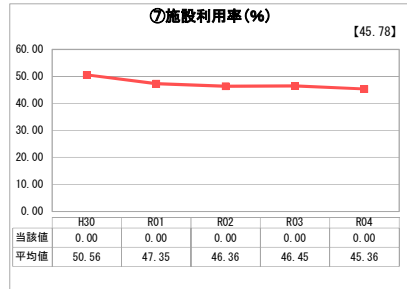
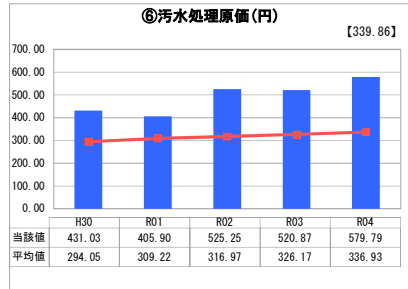
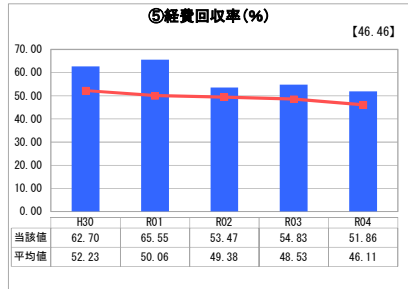
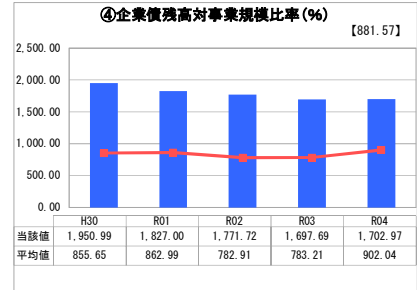
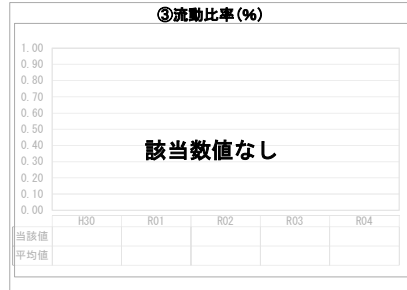
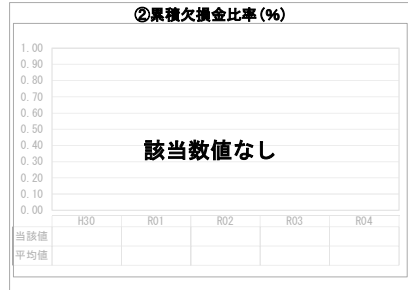
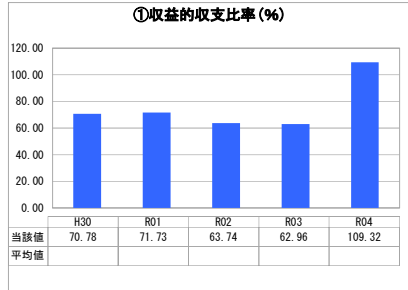
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	該当数値なし	18.64	100.00	3,393

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
4,211	716.80	5.87
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
797	0.15	5,313.33

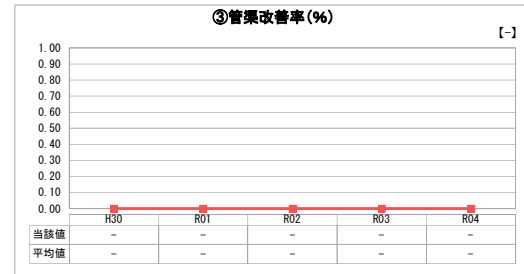
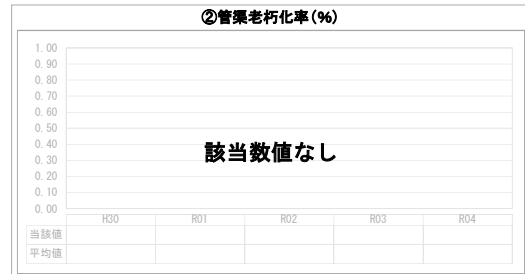
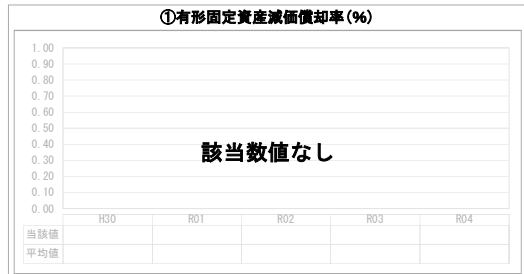
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

津別町の個別排水事業の経営を持続するためには、収益的収支比率の大幅な改善が急務となっている。経費回収率は、類似団体と同等ではあるもの決して良いとは言えない。また、汚水処理原価においては類似団体を大きく上回っていることから、改善の余地はあるものの、今後は修繕コストがより一層増嵩することが想定され、支出の改善も難しいことから、適切な経営についての検討が必要となっている。

2. 老朽化の状況について

事業開始から相当年数経過していることから、事業開始当初に設置した浄化槽については修繕費用が高くなっているものもある。供用開始から相当年数経過した浄化槽については、メンテナンス等をこれまで以上に徹底することにより、実用耐用年数を延長させる取り組みが求められているが、耐用年数を考慮し適切な更新時期を逸することの無いよう、日頃より各浄化槽の状況把握を行う必要がある。

全体総括

津別町の生活環境の向上を図るうえで、下水道を補完する事業として重要な役割を担っているため、今後においても経営の安定に向けた取組を継続することが重要となっている。類似団体に比べて水洗化率が低いものの、改善傾向にあることから、今後も普及促進を継続するためにも経営状況の改善に向けた検討を進める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。